

ふるさとで
夢をもって
川高ライフ
川俣高校のわだいを
定期的に掲載します！



藤原 晖一さん（機械科 3年・柏崎）

両親が製造関連の仕事をしていることから、ものづくりに興味を持ちました。2級技能検定に向け、これから直していくかなければならない部分も多いのですが、親身になって指導していただける先生方の話を聞いて、自信を持って検定に挑みたいです。そして、ものづくりの技術を自分の将来に生かしたいです。

高校生での取得が難しい2級技能検定（普通旋盤作業・8月）に挑む生徒に話を聞きました。



2級技能検定に挑む。

技能検定とは

職業能力開発促進法に基づき実施され、技能者の技能を全国統一の基準で評価し公証するものです。各職種ごとに1級～3級などにわかれ、実技試験と学科試験を行います。合格者は「技能士」と称することができます。
今回掲載した2級検定は、高校生での受検が限られる、高度な技術を要するもので、川高生の技術の高さが伺えます。

中川 直登さん（機械科 3年・福島市）

昨年、航空機のジェットエンジン部品などを製造するIHIに就職した今泉誠也先輩に憧れて、この検定に挑戦しています。私もIHIへ入社し、製造の仕事をすることが夢です。この検定に合格することで自分の技術が認められ、入社へ一步近づけると思います。夢の実現のために、熱心な先生方とともに頑張ります。

